

盛岡大学栄養科学部年報

(2016年4月～2017年3月)

栄養科学科図書委員会

1. 学術論文

A. 学術論文(学会等学術団体が刊行している学術雑誌に掲載されたもの)

太田 徹

Koguchi T, Nakajima H, Takano S, Ota T, Wada M, Innami S, Tadokoro T.
Suppressive effect of agarose and cellulose on hyperuricemia induced by dietary RNA in rats.,
Current Topics Pharmacology., 20, 57-66 (2016)

Shirai T, Shichi Y, Sato M, Tanioka Y, Furusho T, Ota T, Tadokoro T, Suzuki T, Kobayashi K, Yamamoto Y.
High dietary fat-induced obesity in Wistar rats and type 2 diabetes in nonobese Goto-Kakizaki rats differentially affect Retinol binding protein 4 expression and vitamin A metabolism. , Nutrition Research., 36, 262-270(2016)

鈴木 一幸

Kooka Y, Sawara K, Endo R, Kato A, Suzuki K, Takikawa Y. Brain metabolism in minimal hepatic encephalopathy assessed by 3.0-Tesla magnetic resonance spectroscopy. Hepatol Res, 46, 269-76. (2016)

鈴木一幸、佐原 圭、小岡洋平、他. 肝硬変におけるミニマル肝性脳症の合併症とその予測因子に関する検討 : 高齢者と非高齢者での検討. 日本高齢消化器病学会誌 18:58-63 (2016)

鈴木一幸、永井田優衣、佐原 圭、他. 高齢肝硬変における蛋白・エネルギー代謝異常の特徴. 日本高齢消化器病学会誌 18:32-35 (2016).

Suzuki K, Kuroda H, Sawara K, et al. Predictive biomarkers for diagnosis of minimal hepatic encephalopathy in patients with liver cirrhosis: A preliminary result in a single center study in Japan. Biomed Res Clin Prac 1: 97-102 (2016).

Suzuki K, Onodera M, Kuroda H, et al. Reevaluation of serum carnitine status in patients with liver cirrhosis. J Liver Res Disord Ther 2:25-31 (2016).

遠藤龍人、滝川康裕、鈴木一幸. 肝硬変の栄養ガイドライン. 臨床栄養 2016:128:893-900.

遠藤龍人、佐原 圭、鈴木一幸、他 4 名 : 肝性脳症に対するリファキシミン治療. 肝胆膵 2016:73;1077-1083

板井一好

Koeda Y, Tanaka F, Segawa T, Ohta M, Ohsawa M, Tanno K, Makita S, Ishibashi Y, Itai K, Omama S, Onoda T, Sakata K, Ogasawara K, Okayama A, Nakamura M.: Comparison between urine albumin-to-creatinine ratio and urine protein dipstick testing for prevalence and ability to predict the risk for chronic kidney disease in the general population (Iwate-KENCO study): a prospective community-based cohort study. BMC Nephrol. 17(1):46. (2016)

Tanaka F, Komi R, Makita S, Onoda T, Tanno K, Ohsawa M, Itai K, Sakata K, Omama S, Yoshida Y, Ogasawara K, Ishibashi Y, Kuribayashi T, Okayama A, Nakamura M; Iwate-Kencho Study Group.: Low-grade albuminuria and incidence of cardiovascular disease and all-cause mortality in nondiabetic and normotensive individuals. J Hypertens. 34(3):506-512 (2016)

Ohsawa M, Tanno K, Okamura T, Yonekura Y, Kato K, Fujishima Y, Obara W, Abe T, Itai K, Ogasawara K, Omama S, Turin TC, Miyamatsu N, Ishibashi Y, Morino Y, Itoh T, Onoda T, Kuribayashi T, Makita S, Yoshida Y, Nakamura M, Tanaka F, Ohta M, Sakata K, Okayama A.: Standardized Prevalence Ratios for Atrial Fibrillation in Adult Dialysis Patients in Japan. *J Epidemiol.* 26(5):272-6. (2016)

成田 新一郎

Shin-ichiro Narita, Hajime Tokuda: Bacterial lipoproteins; biogenesis, sorting and quality control. *Biochim. Biophys. Acta*, pii: S1388-1981 (16), 30323-30327 (2016.11)

佐藤 ななえ

吉池信男、佐藤ななえ：災害時における乳幼児・妊産婦での栄養問題と対応, *臨床栄養*, 128(3), 320-323

Nanae Sato, Fumi Hayashi, Nobuo Yoshiike : Effectiveness of a Nutrition Education Program to Improve Children's Chewing Habits. (2016), *International Scholarly Research Notices*.

Article ID 4304265, <http://dx.doi.org/10.1155/2016/4304265>

荒井裕介, 林美美, 佐藤ななえ, 吉池信男：全国保健所における加工食品の栄養成分表示に関する事業者からの相談, 支援の現状と課題, *厚生指針*, 12月号

木村 京子

木村京子, 月山克史, 佐々木司郎, 大久保俊治, 市丸雄平：小麦ふすまが食後血糖・インスリンに及ぼす影響, *日本農村医学会雑誌*, 65(1)25-33 (2016.5)

B. その他の論文

太田 徹

Tatsuzawa F, Sugawara M, Nakajo S, Takehara A, Ota T, Kato K. Acylated cyanidin 3-sambubioside-5-glucosides in the flowers of *Erysimum* cultivars (Brassicaceae). *Artes Liberales.*, 99, 135-144(2016)

鈴木 一幸

永井田優衣, 三輪孝士, 鈴木一幸, 他：肝硬変患者における体格指数と蛋白・エネルギー低栄養との関連. *盛岡大学紀要* 33:75-79 (2016).

2. 書評・事典の一項目・文献紹介など

なし

3. 学会・研究会における発表

A. 学会発表

・プログラムに記載されたもの(発表者名は掲載順)

太田 徹

三輪孝士, 太田徹, 佐藤由美子, 熊坂義裕：DPP-4 阻害薬を服用する2型糖尿病患者の血糖改善効果と食事内容の検討, *日本食生活学会第52回大会(埼玉)*, 講演要旨集 p35 (2016.6)

三輪孝士, 太田徹, 佐藤由美子, 熊坂義裕: 糖尿病患者の血糖コントロールからみた身体組成による横断的検討, 第 20 回日本病態栄養学会年次学術集会 (京都), プログラム・講演抄録集, S-110 (2017. 1)

笹田 陽子

笹田陽子: 保育所における食育の推進の実態, 第 63 回日本栄養改善学会学術総会, 講演要旨集 p. 299 (2016. 9)

板井一好

板井一好, 奥田奈賀子, 岡山明: 岩手県内における主な外食に含まれる食塩量について, 第 52 回日本循環器病予防学会学術集会 (埼玉), 日本循環器病予防学会誌 抄録集, p141 (2016)

大澤正樹, 小野田敏行, 丹野高三, 板井一好, 米倉祐貴, 小笠原邦明, 大間々真一, 石橋靖宏, 中村元行, 坂田清美, 栗林徹, 岡山明: 岩手県北地方における死亡, 脳卒中, 心筋梗塞, 心不全罹患状況について, 第 52 回日本循環器病予防学会学術集会 (埼玉), 日本循環器病予防学会誌 抄録集, p130 (2016)

丹野高三, 米倉祐貴, 小野田敏行, 坂田清美, 大澤正樹, 板井一好, 大間々真一, 小笠原邦明, 田中文隆, 中村元行, 石橋靖宏, 栗林徹, 太田睦子, 岡山明: 日肥満者における循環器疾患の危険因子と発症との関連, 第 52 回日本循環器病予防学会学術集会 (埼玉), 日本循環器病予防学会誌 抄録集, p130 (2016)

奥田奈賀子, 辻恵子, 板井一好, 岡山明: 循環器疾患予防における個別指導に用いる簡易版食習慣調査票 (知食スマート版) の妥当性評価, 第 52 回日本循環器病予防学会学術集会 (埼玉), 日本循環器病予防学会誌 抄録集, p135 (2016)

浅沼圭美, 藤沢のり江, 藤井実加子, 菊池由紀, 佐々木光枝, 三浦靖, 森川卓哉, 伊藤綾香, 板井一好, 奥田奈賀子, 辻恵子, 岡山明: 地方創生先行型事業による減塩食品の開発普及プロジェクト「矢巾町塩彩プロジェクト」, 第 52 回日本循環器病予防学会学術集会 (埼玉), 日本循環器病予防学会誌 抄録集, p135 (2016)

栗林徹, 奥田奈賀子, 中村幸志, 渡邊至, 由田克士, 神出計, 鳥居さゆ希, 三浦克之, 板井一好, 岡山明: 効果的な保健指導の要因の検討—運動習慣の特性について—, 第 52 回日本循環器病予防学会学術集会 (埼玉), 日本循環器病予防学会誌 抄録集, p140 (2016)

村元 美代

村元美代, 永山智絵, 福田禮子, 大和田ミチヨ, 山桑セツ子: 東日本大震災被災者支援『ふれあい昼食会』参加者の住環境と心の健康, 第 63 回日本栄養改善学会学術総会 (青森) 講演要旨集 p. 288 (2016. 9)

伊藤優児, 佐藤将隆, 村元美代, 阿部真弓, 佐藤佳織, 横山 恵, 鈴木 惇: 冷凍魚 (赤魚) の味や組織に及ぼす乳清 (ホエイ)・塩麴の影響, 第 31 回岩手栄養改善学会 (盛岡) 講演要旨集 p. 17 (2016. 12)

小笠原彩華, 高橋知菜海, 宇津宮里衣, 工藤早智子, 村元美代: 『そのとき被災地は—栄養士が支えた命の食—』から得られる情報と東日本大震災ならびに熊本大地震に関する新聞記事にみる状況の比較, 第 31 回岩手栄養改善学会 (盛岡) 講演要旨集 p. 18 (2016. 12)

成田 新一郎

大門康志, 舛井千草, 宮崎亮次, 櫻田洋人, 田中良樹, 鈴木健裕, 堂前直, 森博幸, 塚崎智也, 成田新一郎, 秋山芳展: 大腸菌のペリプラズムプロテアーゼ BepA は, TPR domain を介したタンパク質間相互作用により外膜機能を維持する, 日本農芸化学会 2017 年度大会 (京都), 講演要旨集 p. 1348 (2017. 3)

木村 京子

田口ちひろ、小野由紀恵、石山香、佐藤未歩、舟木智美、松山優里、鈴木真澄、木村京子：食事アレルギーオーダーと管理栄養士による聞き取り調査内容の不一致低減に向けた取り組み，第65回日本農村医学学会（三重）講演要旨集 p. 600(2016.10)

石山香、木村京子、鈴木真澄、小野由紀恵、佐藤未歩、舟木智美、田口ちひろ、松山優里：バイキング方式の食事会を用いた糖尿病教室の有効性の検討と今後の課題，第65回日本農村医学学会（三重）講演要旨集 p. 600(2016.10)

唯根理子、油田幸子、桑原ともみ、石井洋子、佐藤佐喜子、齋藤比沙子、木村京子：全国厚生連栄養士協議会の取り組み—「ひろげよう、全厚連の輪」私のおすすめ郷土料理，第65回日本農村医学学会（三重）講演要旨集 p. 676(2016.10)

菊池 眞帆

菊池眞帆：校外実習（給食の運営）に関する実態調査、第12回日本給食経営管理学会学術総会（西宮）、講演要旨集 p. 54 (2016.11)

長谷川 和哉

長谷川和哉、日高綾乃、宇藤山麻衣子、山田千紘、秋枝さやか、伊達紫：ラットへの軟食自由摂食によるエネルギー代謝バランスと内臓脂肪蓄積，第89回日本内分泌学会学術総会（京都），演題番号 P3-19-1（2016.4）。

B. 研究会発表

・プログラムに記載されたもの（発表者名は掲載順）

氏名 鈴木 一幸

鈴木一幸、熊谷一郎、神谷亮一、滝川康裕：潰瘍性大腸炎の治療経過中に偶然発見された急性E型肝炎の1例。第39回ウイルス肝炎談話会、自治医科大学研修センター、(2016.12)

C. その他の発表（研究セミナー）

・プログラムに記載されていないものも含む

なし

4. 著書（A 学術書， B 一般書， C 報告書）

A. 学術書

太田 徹

太田 徹：『食べ物と健康 食品の科学 第3章B 色素成分 C 呈味成分 D 香気・におい成分 E テクスチャー』，p103-119，国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所監修，太田英明 北畠直文 白土英樹編集，南江堂(2016.9)

笹田 陽子

池田尚子・石黒真理子・久保和弘・笹田陽子・重田公子・鈴木和春・中島滋・早坂信哉・深作貴子・藤井紘子・山本由喜子：『コンパクト応用栄養学』，朝倉書店（2016.3）

鈴木 一幸

鈴木一幸：1. 消化器疾患②肝疾患. 病態栄養ガイドブック改訂第5版，日本病態栄養学会編，南江堂（2016.6）

鈴木一幸：第III章12. 肝性脳症の病態. 肝臓専門医テキスト，日本肝臓学会編，南江堂（2016.11）.

加藤章信、鈴木一幸：第IX章9. 肝性脳症. 肝臓専門医テキスト，日本肝臓学会編，南江堂（2016.11）.

鈴木一幸：第XVI章1. 肝性脳症の治療. 肝臓専門医テキスト，日本肝臓学会編，南江堂（2016.11）

滝川康裕、鈴木一幸：第III章6. 急性肝不全の発症機序. 肝臓専門医テキスト，日本肝臓学会編，南江堂（2016.11）

村元 美代

宮下朋子，村元美代，津田和加子，菊池節子，菊地和美，新海シズ：『新 調理学実習 第二版 ー基本調理から給食への展開ー』/宮下朋子，村元美代編著，同文書院（2016.4）

佐藤 ななえ

吉池信男，佐藤ななえ：管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム準拠第2巻 食事摂取基準（理論と活用）第3版，pp83-86

成田 新一郎

成田新一郎：『遺伝子発現とその制御』岡純、田中進編集『人体の構造と機能および疾病の成り立ち II. 生化学 Visual 栄養学テキスト』15章，中山書店（2016.11）

B. 一般書

・学術書以外のあらゆるジャンルの書籍

なし

C. 報告書

・公に刊行されたもの

なし

5. その他の研究活動(A 講演, B パネリスト, C 助言, D 座長, E その他*)

A. 講演

笹田 陽子

笹田陽子：寝たきりにならないために，花巻農業協同組合生活部長研修会（花巻）（2016.6）

笹田陽子：放課後児童クラブにおける安全・安心への対応，岩手県放課後児童支援員認定資格研修会（県南・県北・沿岸・県央の4地区）（2016.7~11）

笹田陽子：災害時における栄養管理，一般社団法人臨床栄養学会2016年度認定臨床栄養医研修会（盛）（2016.7）

笹田陽子：保健講話 からだと心をつくる栄養，岩手県立第四高等学校（盛岡）（2016.11）

笹田陽子：思春期のからだと心の栄養，平成28年度高等学校教育研究会学校保健部会盛岡支部研究会（盛岡）（2016.12）

笹田陽子：健康づくりは食事から ～高齢期の栄養～，平成 28 年度 高等学校教育研究会家庭部会盛岡支部研修会（滝沢）（2016.12）

鈴木 一幸

鈴木一幸：「岩武会」特別講演：肝硬変の病態・治療をめぐる最近の話題。武田製薬株式会社主催 盛岡，（2016.10）

村元 美代

村元美代：おいしさの追求～味と味覚～，秋田県立大館鳳鳴高等学校 SSH 事業（盛岡大学）（2016.5）

村元美代：岩手生まれの食材を食す～おいしさと調理性～，日本栄養改善学会東北支部会市民講座（盛岡市，マリオス 対象：一般市民）（2016.7）

村元美代：就学期の健康な食事～お弁当作りから～，食育出前講座（一戸中学校・対象：生徒，教員，保護者）（2016.11）

村元美代：美味しい惣菜を適塩で～大量調理における味付けの工夫～，平成 28 年度脳卒中予防緊急対策事業「減塩リーダー養成講習会」（岩手県県央保健所）（2017.3）

佐藤 ななえ

佐藤ななえ：マクロな視点から考える健康・栄養～みんなが驚く初耳学！～，平成 28 年度岩手県立釜石高校スーパーサイエンスハイスクール総合大学（2016.9）

氏名 木村 京子

木村京子：褥瘡の予防と管理・栄養～たべるがいちばん～，第 10 回秋田県在宅褥瘡セミナー，（秋田）（2016・7）

木村京子：糖尿病 食事療法の基礎，2016 年度 CDE-AKITA 認定研修会（秋田）（2016・7）

木村京子：褥瘡の予防と管理，県南地域 N S T 講演会（秋田）（2016・8）

木村京子：小麦ふすまが食後血糖・インスリンに及ぼす影響，第 31 回秋田県糖尿病研究会（秋田）（2016・10）

木村京子：患者の心を動かす食事指導の極意，第 13 回日本循環器看護学会（仙台）（2016・10）

木村京子：褥瘡の予防と管理・栄養～たべるがいちばん～，秋田県薬剤師会在宅褥瘡研修会（秋田）（2017・2）

木村京子：フレイル予防のための栄養管理，（秋田）（2017・3）

B. パネリスト

なし

C. 助言

佐藤 ななえ

「平成 28 年度モデル企業における社員の食生活改善指導に関する研究」への助言（2016.11）成人に対する野菜摂取を促す教育手法の改良と食事調査データの解析

「平成 28 年度モデル企業における社員の食生活改善指導に関する研究」への助言（2017.3）成人に対する野菜摂取を促す教育手法の評価に関する専門的助言

D. 座長

太田 徹

日本食生活学会第 52 回大会一般講演 A 会場

笹田 陽子

第 63 回日本栄養改善学会学術総会ワークショップ（①栄養診断と PES 報告の実践に向けて②女性ジュニアアスリートの発育・発達を考える③健康長寿を支える食環境整備の取り組み④人を対象とした栄養学研究を行う際の研究倫理を考える⑤食べることは生きること!!!在宅歯科診療における管理栄養士・栄養士の関わりとその関連⑥栄養教諭の未来⑦持続可能な開発目標の枠組みで日本の栄養分野を分析する⑧実践現場から科学的根拠の発信～「実践報告」論文の充実に向けて～）①～⑧のまとめ

板井一好

第 89 回日本産業衛生学会（福島）、教育講演「職場でアルコール問題に取り組む根拠」座長

佐藤 ななえ

第 63 回日本栄養改善学会学術大会口頭発表座長（食育・栄養教育）

木村 京子

第 65 回日本農村医学学会（三重）（2016.10）

E. その他

笹田 陽子

滝沢市健康を考えるつどいにおける展示及び栄養教育，（滝沢市）（2016.11）

岩手県食育県民大会食育標語コンクール審査員 最優秀賞「希望郷 未来へ受け継ぐ 伝統料理」（2016.11）

村元美代

村元美代：栄養指導実践セミナー，岩手県栄養士会，一般社団法人 J ミルク共催，（盛岡市，アイーナ）（2017.1）司会兼座長

川越 有見子

盛岡大学川越研究室：共同研究

平成 28 年度 日本教育科学研究所 研究実践校との委嘱、研究実践校：山形県西置賜郡飯豊町立第一小学校研究テーマ：「じりつ」（自立・自律）を育てる健康教育

本研究は、①『意欲につながる「じりつの時間」』②『高まり合いを意図した「じりつリーダー活動」』③『自己管理能力を育てる「一っ子セミナー（肥満予防教室）」』の3つの特徴ある取り組みにより「じりつ」を育てる健康教育を推進した。本研究室は、③『自己管理能力を育てる「一っ子セミナー（肥満予防教室）」』の取り組みについて実践研究を担当したものである。

長谷川 和哉

平成 29 年度学術研究振興資金（若手研究者奨励金），日本私立学校振興・共済事業団（2017.3）

6. その他社会的活動（全国レベル，都道府県レベルの別）

全国レベル

笹田 陽子

第 63 回日本栄養改善学会総会実行委員会学術総会副会長

村元 美代

第 63 回日本栄養改善学会学術総会実行委員会（総務）（2016）

佐藤 ななえ

第 63 回日本栄養改善学会学術大会実行委員および査読委員
日本健康教育学会誌編集委員会委員 (H27～現在に至る)

木村 京子

日本病態栄養学会 学術評議員
日本農業新聞，話題の甘酒 (2016. 12. 6)
日本農業新聞，フレイルにご用心 (2016. 12. 22)

都道府県レベル

笹田 陽子

日本栄養改善学会東北支部会市民講座 企画・運営

村元 美代

公益社団法人岩手県栄養士会 副会長 (再任 2016. 5～)
岩手県防災会議幹事 (2016. 5～)

木村 京子

秋田県糖尿病対策推進会議 委員
NPO 法人 秋田県糖尿病対策推進協議会 委員
NHK 岩手おぼんです：夏バテ予防 (2016. 8)
岩手日報：糖尿病レシピコンテスト (2016. 10)